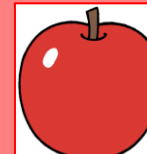
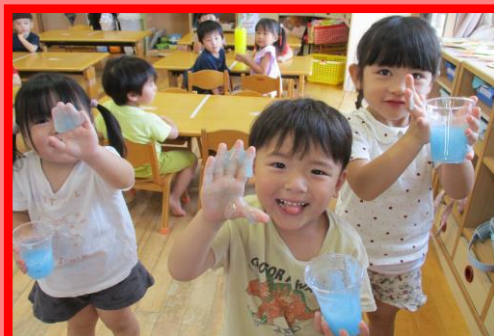


りんごぐみ (3歳児)

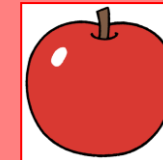
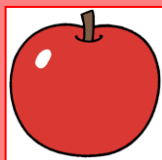


★スライムって楽しいね★



8月2日

色水に洗濯のりやホウ砂液を混ぜ合わせて、スライム作りをしました。材料が入ったコップをマドラーで一生懸命かき混ぜると、少しずつ粘り気が出てきて「お水がスライムになってきたよ!」「どうして固まるのかな?」「早く触って遊びたいな♪」と、固まっていく様子を不思議に感じながらも完成を楽しみにしていた子どもたちです。完成するとすぐに指先で感触を確かめ「プニプニしてる!」「冷たくて気持ちいい~」と大喜びでした。粘土のように丸めたり伸ばしたりして造形する子、どこまで伸びるかお友達や先生と競争する子など遊び方は様々でしたが、どの子もニコニコ笑顔でスライム遊びを楽しんでいました。これからも、子どもたちの“楽しい!”“不思議!”の気持ちを育めるような活動をたくさん取り入れていきたいと思ひます。





ももぐみ (2歳児)



★スイカ割りをしたよ★



8月2日

畑のスイカを収穫しました。いくつも収穫できたので、一番小さいスイカで『スイカ割り』をしました。「〇〇ちゃん、頑張って!」「頑張れ」と子どもたちの声援の中、順番に挑戦しました。バットをそーっと振り下ろす子、力を込めて振り下ろす子、何度も叩こうとする子など様々な姿が見られました。段々とスイカにヒビが入り、保育士が「みんな、割れてきた!見て」と子どもたちをスイカのそばに誘いました。すると、子どもたちはスイカのそばに集まり「本当だ。赤いの見えるよ」「なんか黒い丸いの落ちとる」などスイカをじっくりと観察。そして、「もうちょっとで割れるんじゃない?」とスイカ割りを再開しました。スイカのヒビが大きくなると、スイカの甘い匂いもしてきました。「頑張って」「頑張れ」と声援が最高潮になったとき、ついにスイカが割れました。「やったー!」「赤いね」「食べたいね」と割れたスイカの中を見ました。もも組の大きな自慢のスイカは、冷やして保育園のお友達みんなでお食べました。

